

CSR

Corporate Social Responsibility

Report 2021



<https://www.kobelcosys.co.jp/>

本社：〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号 シマブンビル
東京本社：〒141-8688 東京都品川区北品川5丁目9番12号 北品川IONビル

発行：コベルコシステム株式会社 CSR推進委員会
(事務局 TEL.078-261-6001 FAX.078-261-7520)

本誌は、印刷・製本に関して以下のような配慮を行っています

印刷に関する配慮



印刷工程において有害廃液を出さない「水なし印刷」を採用しています。

用紙に関する配慮



この冊子はFSC®認証紙を使用しています。

インクに関する配慮



環境負荷の少ない植物油インクを使用しています。



Top Message

2020年は新型コロナウイルスで始まり、全世界が翻弄される一年となりました。東京オリンピック・パラリンピック開催が延期になるなど先行き不透明な環境のもと、当社では社内およびお客様への感染防止に取り組む一方で、全社一丸となってITソリューション/サービスを提供し、お客様の発展とチャレンジに貢献してきました。こうして2021年版CSRレポートを発行できたのは、お客様やパートナー様、社員をはじめ地域社会を含むすべてのステークホルダーの皆様にご理解ご協力をいただき、取り組んできたことの証だと考えます。まずはすべてのステークホルダーの皆様に感謝申し上げます。

まだ世の中の不透明感は続いています、明るい兆しは出てきています。新型コロナウイルスのワクチン接種、米国の国際協調路線への復帰、デジタル庁設置による国・地方行政のIT化など日本経済の活性化に寄与する話題です。我々はお客様に信頼されるパートナーとして、お客様と未来を描き、そこに向かってお客様とともに成長していく所存です。

足元では、コロナ禍を契機に働き方そのものを見直し始めるとともに、デジタル化の推進に加速がつき始めています。当社では、2021年からスタートする3か年の新中期経営計画を策定しました。お客様がニューノーマルと呼ばれる新しい世界で成長するための変革を支援する、そのために当社もパートナーとしての新たなステージに向け変革をスタートさせる、その想いをスローガン「Vitalization」に込めて、取り組んでいきます。新中期経営計画の主要ポイントは次の3点です。

代表取締役社長

瀬川文宏

- ▶お客様との関係性を強め、パートナーとしてステップアップするとともに、お客様とともにDX(デジタル・トランスフォーメーション^(※))ソリューションを創り上げていく。
- ▶製造業向けのDXソリューションを開発し、事業化を目指すとともに、工数ビジネスからの脱却に向けて加速させる。
- ▶これらの事業変革を進めていくための基盤となる人材育成、すべてのステークホルダーへの貢献を目指す。

上記を通じて、お客様の成長に貢献していき、当社の長期経営ビジョンである「Be a Trusted Partner」の実現に取り組んでいきます。

そのために、大前提であるコンプライアンス遵守の徹底を継続していきます。社員一人ひとりがコンプライアンスの重要性を理解し、正しい判断に基づいて行動していきます。

また、国連で採択されたSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の普及、パリ協定の採択など、企業にも環境や人権などの社会課題の解決が求められています。当社においてもサステナビリティの考え方を経営に取り込み、社会にかかわる課題解決と企業活動の融合を図っていくことで、将来に渡り社会とともに成長し、サービスを提供し続ける会社にしていきたいと考えています。

今後もお客様やパートナー様、社員をはじめ地域社会を含むすべてのステークホルダーの皆様とともに歩んでいきたい、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※デジタル・トランスフォーメーション(DX: Digital Transformation)
企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもちに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、顧客に新しい体験を提供することにより競争力を持つこと。

Contents

特集

03 新中期経営計画(2021~2023年)

CSRを支える経営基盤

05 「Be a Trusted Partner」に向けて

お客様とともに

07 お客様から信頼されるパートナーに

09 品質向上活動に終わりはなし

10 セキュリティなくしてビジネスなし

11 先進技術への取り組み強化

12 外部からの評価

13 お客様事例紹介

ビジネスパートナー様とともに

15 公正なパートナーシップの維持

社員とともに

17 人材育成の仕組み

20 社員と組織の絆を深めるために

地域社会とともに

21 環境保護・地域貢献活動

CSRの取り組みについて

21 SDGsとの対照表

22 会社プロフィール / 沿革 / 取得済の認証・認定・許可 / 編集後記

[報告対象期間]

2020年1月1日から12月31日の1年間の活動を中心に記載しています。
一部につきましては、対象期間以前からの経緯やCSRレポート発行時直近の事項についても記載しています。

新中期経営計画(2021~2023年)

新中期経営計画

経営理念

私たちコベルコシステムは、お客様と「夢」を共有し、確かな知識と卓越した技術によるITソリューション/サービスを通じて、お客様の発展とチャレンジに貢献し続けます。

長期経営ビジョン

Be a Trusted Partner

お客様に信頼されるパートナーとして

- お客様にとってなくては困る会社
- お客様とともに成長する会社
- 社員が誇りを持てる会社

中期経営計画

Vitalization

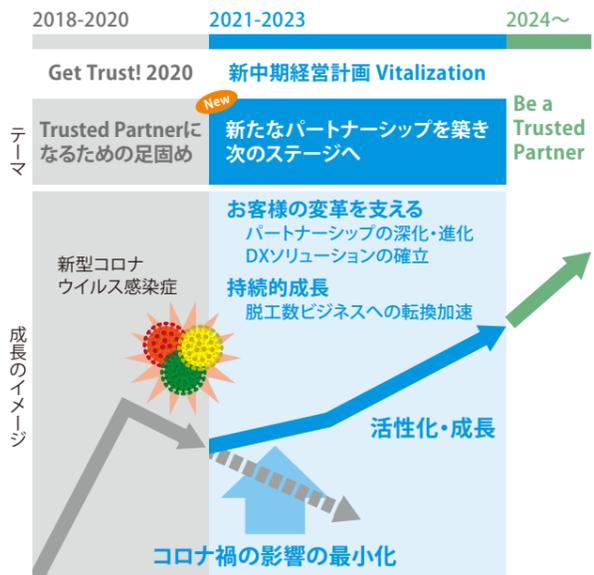
- お客様がニューノーマルと呼ばれる新しい世界で成長するための変革を支援する。
- そのために当社もパートナーとしての新たなステージに向け変革をスタートさせる。

■新中期経営計画「Vitalization」

コベルコシステムは、今後も持続的に発展を続けるために、将来ありたい姿を示した長期経営ビジョン『Be a Trusted Partner』のもと、次期3か年(2021~2023年)の新中期経営計画『Vitalization』を2021年に発表しました。

新型コロナウイルス感染流行後のニューノーマルと呼ばれる新しい世界で、お客様が成長するための変革を支援するため、当社はパートナーとして新たなステージに向けた変革をスタートさせます。お客様のTrusted Partnerを目指し、お客様が求めるソリューション・サービスをお客様ごとに最適な形態で提供できるよう、ビジネス強化、DXソリューション開発、アセット・コンテンツ拡充を図るとともに、事業変革の基盤となる人材育成に取り組めます。

■長期経営ビジョン「Be a Trusted Partner」に向けた成長イメージ



Vitalization 3つの方針

Trusted Partnerを目指したビジネス強化

- Trusted Partnerを目指した新しいパートナーシップモデルの提供
- 神戸製鋼所様の機能分担会社としての価値向上

新規DX事業の立上げと既存事業の高収益化

- DXソリューションの事業化
- 脱工数ビジネスへの転換
- 神戸製鋼所様のIT戦略支援、デジタル化

事業変革の基盤となる人材への投資と社会貢献

- 将来を意識した多様なプロフェッショナル人材の育成
- すべてのステークホルダーへの貢献

Vitalization 5つの重点施策

営業戦略

1 お客様別パートナーシップモデルと効果的アプローチ

- 主要顧客向け共創モデル・協働モデルの確立
- お客様個別への効果的アプローチ

2 製造業向けDXソリューションとHI-KORT4.0の知財拡充

- DXソリューションの開発と事業化
- HI-KORT4.0の拡充とDX連携

事業戦略

3 脱工数ビジネスへの転換加速とさらなるQCD強化

- アセット、コンテンツの拡充
- サブスクリプションモデルの拡大
- QCD強化(オンライン環境下を含む)

4 プロフェッショナル人材の育成投資

- コベルコシステムグループ人材育成モデルの開発
- 顧客接点人材の強化
- 先進技術への取り組み活性化

本社機能別戦略

5 健康と生産性を重視した新しいワークスタイルの実践

- 社員の心身両面での健康促進支援
- 高いモチベーションと生産性の維持に向けた組織風土と働き方変革

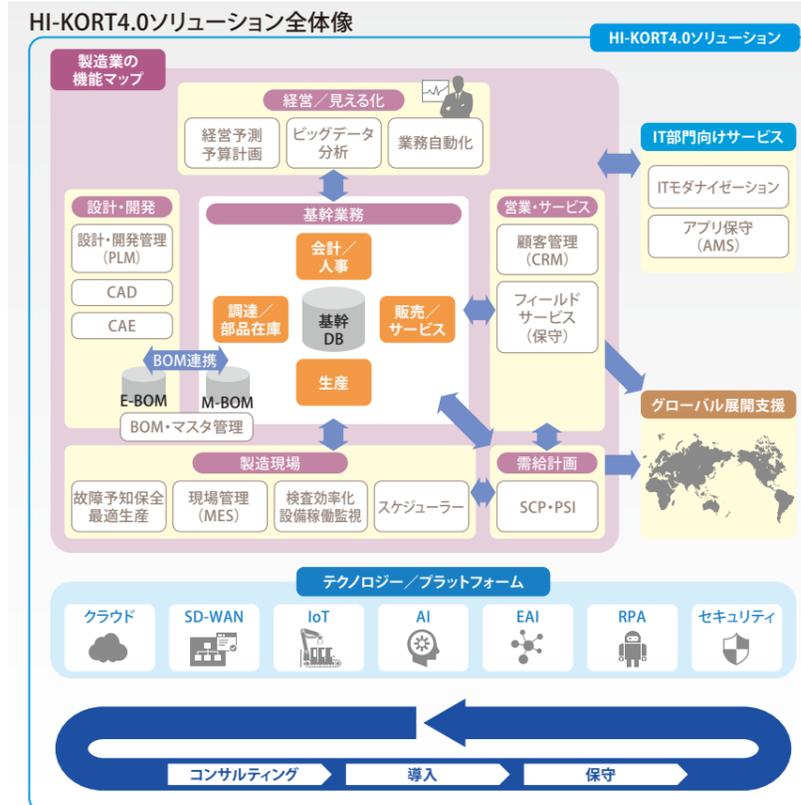
製造業向けDXソリューションとHI-KORT4.0の知財拡充について

HI-KORT4.0とDXの連携

中期経営計画の5つの重点施策のうち、HI-KORT4.0は、当社が提供する、神戸製鋼グループでの実績を持つ、製造業のお客様向けのハイパフォーマンスソリューション群です。お客様のグローバル化対応、IoT時代を支える基盤づくりを支援します。

また、当社は新中期経営計画において重点的に取り組む技術・ソリューション・サービスを定めており、その中でDXソリューションについて、それぞれいつまでにどこまで推進するかを設定し、ビジネス本格化に向けた準備を進めます。

日々の開発から得たノウハウをHI-KORT4.0に反映し拡充するとともに、開発したDXソリューションのテンプレート化を進めHI-KORT4.0と連携することで、HI-KORT4.0のさらなる進化を図ります。



「Be a Trusted Partner」に向けて

長期経営ビジョン・中期経営計画

2017年に長期経営ビジョン『Be a Trusted Partner』および長期経営ビジョンの実現に向けた3か年の中期経営計画『Get Trust! 2020』(2018年~2020年)を策定し、顧客基盤の強化を図るとともに、Trusted Partnerになるための人材育成や社員の行動変革を促す仕組み作りなどに注力してきました。

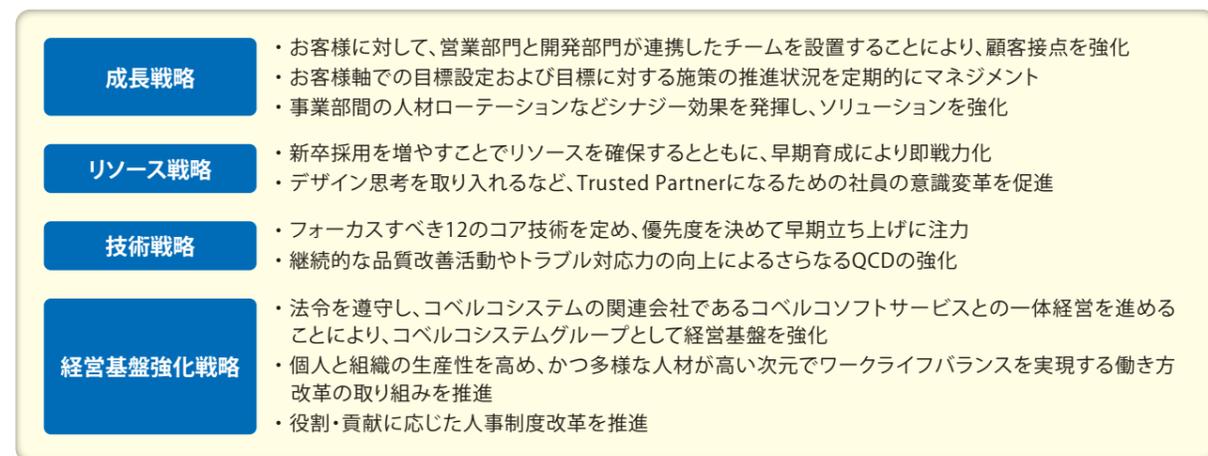
■ 長期経営ビジョン

Be a Trusted Partner

お客様に信頼されるパートナーとして

- お客様にとってなくては困る会社
- お客様とともに成長する会社
- 社員が誇りを持てる会社

■ 中期経営計画(事業戦略)



2020年は、中期経営計画『Get Trust! 2020』の最終年でしたが、新型コロナウイルスの影響を最小限に抑えながら、これまで培ってきた実力に磨きをかけ、お客様の期待に応えていくとともに、それらを支える投資も着実に実行してきました。

■ 中期経営計画

Get Trust! 2020

- 長期経営ビジョン実現への第1ステップとして顧客基盤強化の足固めの3か年とする
- Trusted Partnerとなるための人材育成、社員の行動変革を促す仕組みづくりに経営資源を投下する
- お客様とともに成長する

長期経営ビジョンの実現に向けた2020年の主な取り組み

■ お客様向け体制強化

コベルコシステムがお客様に信頼されるパートナー(Trusted Partner)であり続けるため、お客様を担当するクライアント営業、クライアントSE、およびクライアント役員で構成する「クライアントパートナーチーム」の設置を段階的に進めています。

■ 人材の確保と育成

【お客様の期待に応える人材確保】

新卒・キャリア採用を中期の重点施策として掲げています。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下での採用確保のため、オンラインでの説明会や採用面接など新プロセスを早期に構築し、採用活動を行いました。

【技術コミュニティで技術・スキルの研鑽活動】

特定の技術テーマ(先進技術、手法など)に興味のある社員が交流し、技術・スキルの強化に向けた研鑽活動を行う場として、技術コミュニティを発足しました。2020年はRPA、AI、コンテナ技術、アジャイル開発をテーマに5チームが活動してきました。

このクライアントパートナーチームの活動状況は四半期ごとに開催する全社CPS^(※1)にて定期的に報告し、全社でマネジメントしています。

※1 CPS(Client Planning Session):クライアントプランニングセッション

【TP(Trusted Partner)人材育成教育プログラム】

「お客様の本質的な要求を発見し、カタチにする」ことができる人材の育成を目指し、デザイン思考、BABOK^(※2)、およびUSDM^(※3)のメソッドを活用した当社独自のプログラムを展開しています。2019年は96人が受講、2020年はコロナ対策としてオンライン形式での開催に変更し、展開を進めています。

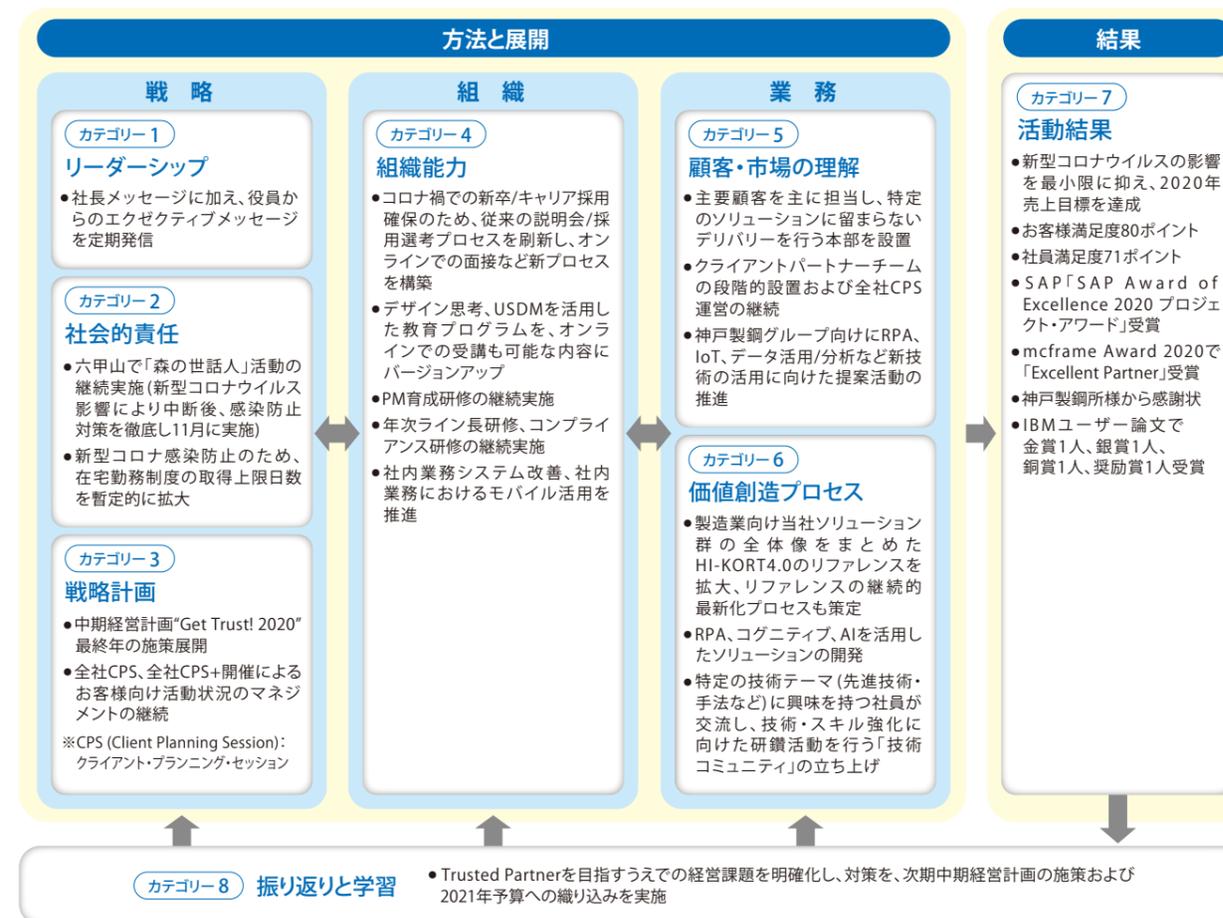
※2 BABOK: Business Analysis Body Of Knowledge

※3 USDM: Universal Specification Describing Manner

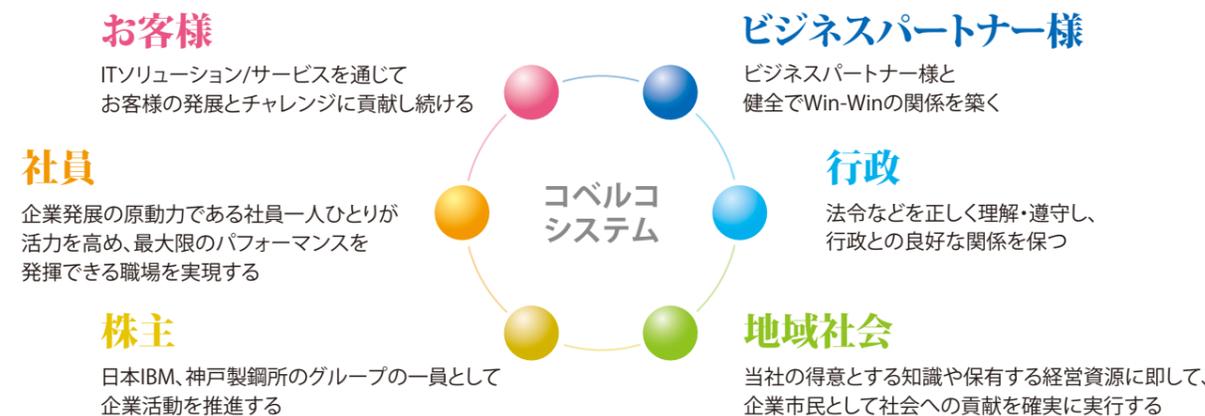
経営品質向上プログラムのフレームワークと2020年の活動結果

コベルコシステムでは、経営品質向上プログラム^(※4)の「顧客本位」「独自能力」「社員重視」「社会との調和」の4つの基本理念を軸に組織・プロセスの変革に取り組んでいます。各カテゴリーでの2020年の活動結果を下記フレームワークに示します。

※4 日本経営品質協議会のプログラムで、顧客、競争(独自性)、社員、社会のすべてにおいて高い価値を作り出すために革新し続ける経営づくりを支援するプログラムです。



コベルコシステムのステークホルダー



お客様から信頼されるパートナーに

コベルコシステムでは「お客様満足度(CS:Customer Satisfaction)向上活動」を、経営を支える大切な取り組みとしています。お客様の声に耳を傾け、お客様のご期待を超え、お客様に感動していただける会社づくりに取り組み続けています。お客様に愛され信頼される真のパートナーとなるために、お客様と夢を共有し、豊かな心と魅力的な会社を目指します。

CS通信

社員の体験談などを記載したCSコラムを中心に、CSに関連した情報を毎月一回、全社員にメールで配信しています。親しみやすい内容で構成し、社員の興味を引き出しながら、CSマインドの向上に役立てています。

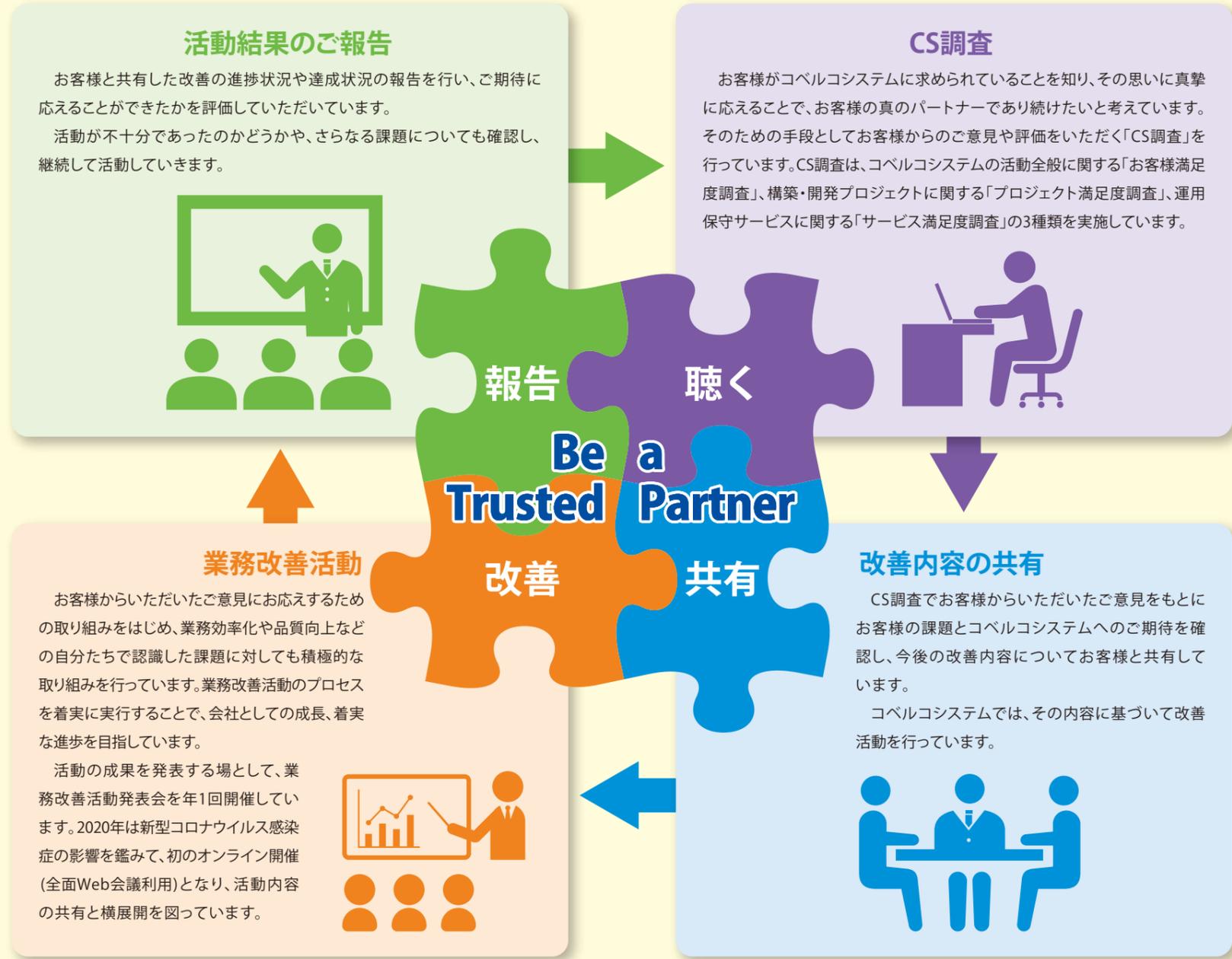


CS研修

社員のCSマインドのさらなる浸透を目指して、毎年、全社員を対象としたCS研修をe-ラーニング形式で行っています。2020年はコロナ禍で合宿形式の開催を見送りましたが、オンライン会議でのCS向上に向けた集中討議を開催しています。これらの研修は、Trusted Partnerとなるための心豊かな感性を育む場として重要な役割を果たしています。



お客様とともに夢を語り未来を創る



豊かな心と魅力的な社員を目指して

CSスローガン

毎年、社員からCS推進のスローガンを募集し、その中から全社員の投票により翌年のスローガンを決めていきます。決定したスローガンはポスターにして各事業所の執務フロア、会議室など、社内各所に掲示し、社員のCSマインドの向上を図っています。



2021年CSスローガン

CS委員会

お客様満足度向上の観点から、全社レベルの施策を検討し、着実に対応する仕組みとしてCS委員会を設置しています。2002年の活動開始から今日にいたるまで、お客様に満足していただけるサービスをお届けできるように、社員のCSマインドの向上に向けたさまざまな活動を展開しています。



品質向上活動に終わりは無い

コベルコシステムでは、システム開発・構築における品質向上を図るため、1999年に認証取得したISO9001をベースに品質マネジメントシステム「KQMS」を構築しています。この下に「KDPS」「品質レビュープロセス」と呼ぶ当社独自の仕組みを構築しています。

2021年 全社品質方針

**“Be a Trusted Partner”の実現に向け、
デリバリー品質向上の仕組みを継続的改善によりさらに強化し
高いレベルでの品質の均一化を図る**

品質マネジメントシステム

KQMS: KOBELCO SYSTEMS Quality Management System

全社で共通のQCD管理サイクルを制定し、それぞれのプロジェクト状況を一元管理しています。

全社品質方針・品質目標管理によるマネジメントレビューのもとでQCDの管理レベルの底上げとプロジェクト情報の見える化を実現し、また継続的に改善活動を行うことによって組織としてのQCD管理レベルの向上を図っています。

※QCD: Quality (品質)、Cost (コスト)、Delivery (進捗)

開発プロセス標準

KDPS: KOBELCO SYSTEMS Development Process Standards

KDPSは、当社独自のプロジェクト管理手順をシステム開発・構築プロセスの標準として組み立てたものです。

プロジェクト計画や検証活動の手順・様式を充実させ、管理作業効率向上のための雛形や管理ツールも準備しています。

品質レビュープロセス

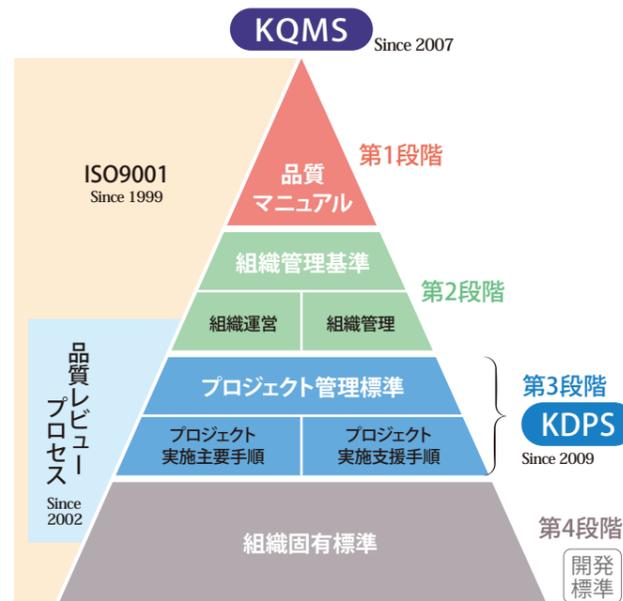
個々のシステム開発・構築が、お客様のご要望を満たし、高品質かつ所定のコスト内で確実に実現できるようにするため、当社独自の品質レビュープロセスを実施しています。

このレビュープロセスは、お客様への提案段階からサービス実施期間全体を対象とし、サービスの成功を脅かすリスクの特定・定量化・対応策の策定を行うため、特別に訓練されたレビューアにより実施されています。

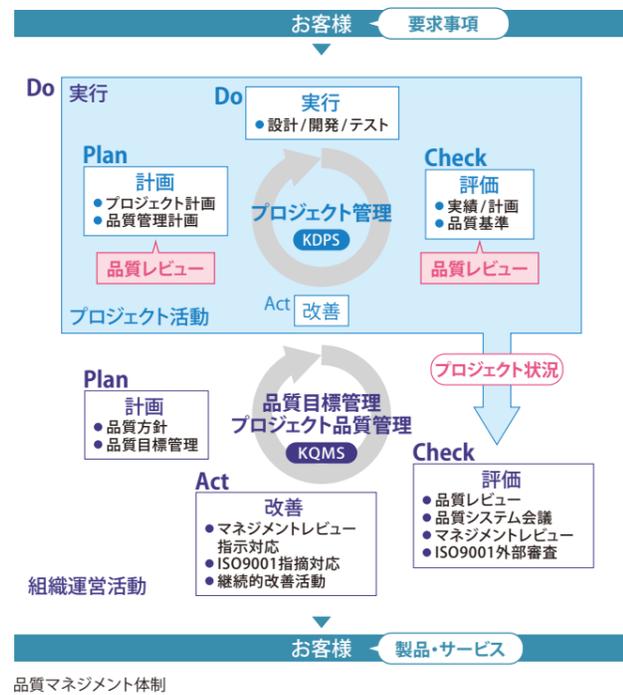
ISO9001:2015の認証

(2019年定期審査受審、2020年更新)

期待される製品・サービスを提供することによりお客様のご満足を得るとともに、ISO9001認証に基づく品質マネジメントシステムの継続的改善を通して品質目標達成を図っています。



品質マネジメント体系図



品質マネジメント体制

セキュリティなくしてビジネスなし

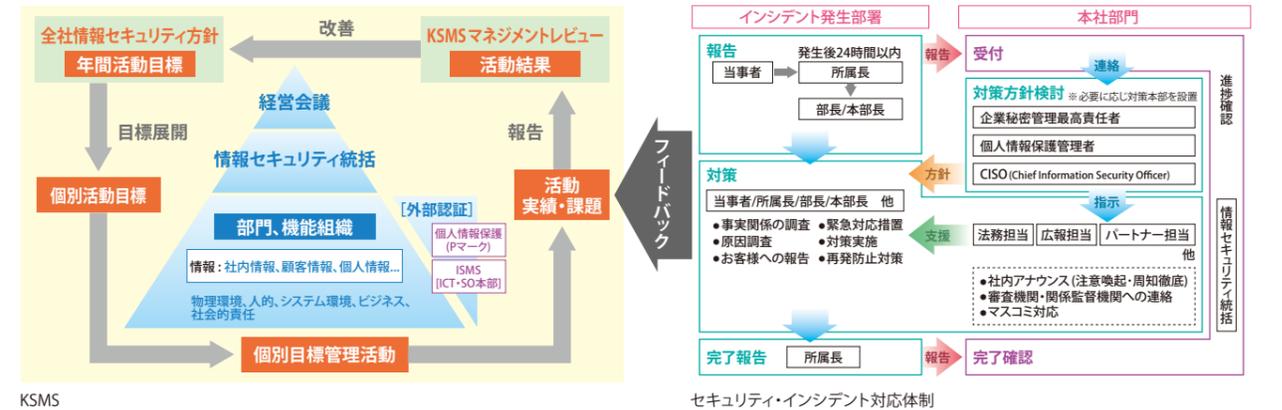
コベルコシステム情報セキュリティマネジメントシステム

KSMS: KOBELCO SYSTEMS information Security Management System

インターネットは、社会の経済活動に欠かせないインフラへ成長するとともに、個人情報の漏えい、詐欺、窃盗やテロなどが大きな社会問題となっています。

情報システムを本業とする当社は、関連会社も含め、KSMSというセキュリティマネジメント体系を定めてセキュリティ活動を行っています。KSMSでは、経営幹部によるマネジメントレビューの

もと、情報セキュリティポリシーの設定・見直し、および「物理環境」「システム環境」「人的」「ビジネス」「社会的責任」の各視点でセキュリティ活動のPDCAを回し、リスクの変化に適応したセキュリティ水準を維持しています。また、セキュリティ・インシデントへの対応は、全社で体制を整備・運用し、全社のセキュリティ活動にフィードバックしています。



KSMS

セキュリティ・インシデント対応体制

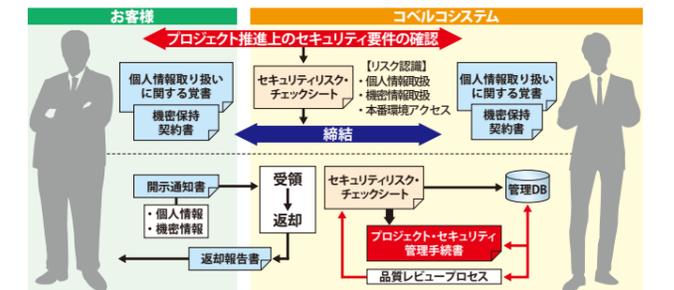
プロジェクトセキュリティプロセス

PSP: Project Security Process

コベルコシステムでは、プロジェクトのQCD管理に加え、2009年からPSPによるセキュリティ管理を推進、強化してきました。

PSPとは、プロジェクトごとにセキュリティリスク (個人情報の取り扱い、機密情報の取り扱い、本番環境アクセス) を把握したうえで、お客様とリスクを共有し、対応策を実施していくセキュリティ管理手法です。

お客様からお預かりしている情報資産を守ること、そしてその情報資産へのアクセスを管理することがコベルコシステムの使命と考え、プロジェクトのセキュリティを確保しています。



プロジェクトセキュリティ対策概念図

情報セキュリティマネジメントシステム

ISMS: Information Security Management System

コベルコシステムのISMS認証は、2003年のハウジングサービス事業から始まり、適用範囲を徐々に拡大して、現在ではシステム事業部ICT本部全体で認証を取得しています。

また、システム事業部SO本部でも日本IBMグループの統一認証を取得しています。

お客様からお預かりする大切な情報資産を守るため、技術的なセキュリティ対策と組織全体のマネジメントの両面から、高度なセキュリティ管理のもとでサービスを提供します。

個人情報保護の推進

お客様、社員の個人情報を適切に保護することは、コベルコシステムの重要な責務です。

コベルコシステムは、プライバシーマーク制度の付与事業者となった2000年以降更新を重ね、個人情報を適切に保護する措置を構築しています。

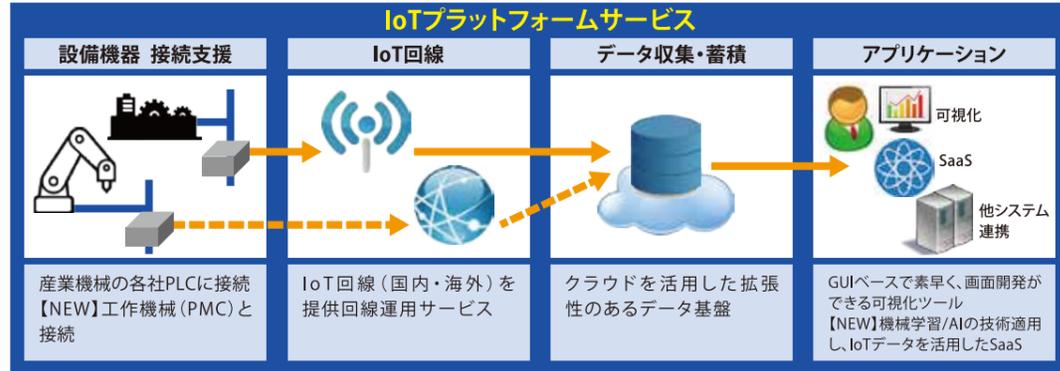
また、毎年、全社員を対象に情報セキュリティ研修を実施し、個人情報保護の理解を深めるとともに意識の向上に努めています。

先進技術への取り組み強化

デジタルイノベーションセンター

当センターでは、強化すべき先進技術領域であるAI、データ分析、IoTの技術検証とビジネス化を推進しています。IoTプラットフォームサービスは産業機械(PLC)以外に、新たに工作機械(PMC)に接続し、

データ収集ができるようになりました。データ活用の強化として、機械学習・深層学習を採用したアプリケーション(SaaS)を新規に開発しました。



【活用シーン】



先進技術カンファレンス

卓越した技術のコベルコシステムをめざすべく社員の技術力向上とノウハウ共有を目的に、社内向けに「先進技術カンファレンス」を年1回開催しています。

本カンファレンスは、社外から招いた講師による先進技術についての基調講演とIT業界やお客様から注目される技術に取り組んでいる社員による事例紹介を中心としたセッションで構成しています。

毎年、システムエンジニアを中心に多数の社員が出席し、日頃の業務とは異なる分野での技術や適用事例に触れ、刺激を得る機会にもなっています。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、初のオンライン開催(全面Web会議利用)となりました。例年と異なる雰囲気の中、最大170人の社員が半日のプログラムに参加しました。



初のオンライン開催での進行の様子

<2020年のプログラム>

基調講演:「Kubernetes Container Transformation Step to CloudNative ~ CloudNativeを要素で考える」

取り組み事例: ① クラウドネイティブ コンテナ技術 ~活用ポイントと、社内の取り組み~

- ② 技術開発本部におけるAI/MLの取り組み
- ③ 技術コミュニティの活動紹介



発表会場風景



オンラインでの発表



視聴者画面

外部からの評価

感謝状・アワード

コベルコシステムにとって一番の喜びは、お客様からの「ありがとうございます」。コベルコシステムが実施した先進的なプロジェクトやアセットビジネスの取り組みなどを評価いただき、2020年もお客様やビジネスパートナー様から多くの感謝の声が届きました。

これからも、お客様やビジネスパートナー様から笑顔で感謝のお言葉をいただけるよう、また、お客様にとって一番のTrusted Partnerとなれるよう、尽力していきます。

ニッポー様^(※1)

ニッポー株式会社様の新基幹システム構築プロジェクトを、最新技術(mcframe7)と強力なプロジェクト管理によりスケジュール通りにサービスインさせた功績が認められ、表彰状をいただきました。



※1 ニッポー様:P.14にお客様事例を紹介

mcframe Award 2020「Excellent Partner」

mcframe/パートナー総会2020において、「Excellent Partner」を受賞しました。

mcframe7の新規顧客を数社獲得し、ライセンス出荷額で上位の実績をあげ、2017年度から3年連続でMCCP^(※3)技術者数第1位であることが評価されました。



※3 MCCP:mcframe認定資格

第61回田宮賞 銅賞

「サイバーセキュリティ対策での神鋼グループへの貢献」が、第61回田宮賞の銅賞を受賞しました。

今回の受賞は、お客様である(株)神戸製鋼所IT企画部様との共同申請での受賞でした。

田宮賞は、神戸製鋼グループの「ものづくり」を支えた事業に与えられる由緒ある賞です。当社はこれで5度目の銅賞を獲得しました。



ニッセイ情報テクノロジー様

ニッセイ情報テクノロジー株式会社様から2019年度優秀パートナー賞をいただきました。これはニッセイ情報テクノロジー様の事業部単位に、年度ごとに最も貢献したパートナーに贈られる賞です。



個人保険システム事業部様と年金ソリューション事業部様の2事業部から賞をいただきました。

SAP AWARD OF EXCELLENCE 2020 優秀賞

オーディオテクニカ様^(※2)向けの国内初のSAP S/4HANA[®] on Azure導入プロジェクト「次期基幹システム導入プロジェクト」がSAP AWARD OF EXCELLENCE 2020優秀賞「プロジェクト・アワード」を受賞しました。



これまで当社は、2003年の「サービスパートナー部門」賞、「プロジェクト・アワード」優秀賞(2006年、2007年、2010年、2011年、2012年、2013年、2014年、2019年受賞)、特別賞(2018年)などの受賞実績があります。

※2 オーディオテクニカ様:P.13にお客様事例を紹介

IBMユーザー研究会 第58回IBMユーザー論文 入選

全国IBMユーザー研究会連合会が主催する第58回IBMユーザーシンポジウムにおいて、コベルコシステムが、IBMユーザー論文

として金賞、銀賞、銅賞、奨励賞それぞれ1件を受賞し、表彰されました。

金賞	[事例型論文]	製造業向けIoT SaaSの開発と今後の展開
銀賞	[提言型論文]	IoTとクラウドプラットフォームの活用におけるセキュリティ対策の提言
銅賞	[事例型論文]	ITサービスの運用ベンダー変更時の考慮点
奨励賞	[提言型論文]	サービスとしてのシステム運用保守 ~価値を高めるための考察と提言~

お客様事例紹介



株式会社オーディオテクニカ様

日本を代表する音響周辺機器メーカー株式会社オーディオテクニカ様(代表取締役社長 松下 和雄様)の創業は、1962年、国産のレコードカートリッジ(レコード針)の製造販売から始まりました。近年ではその精密技術を活かしたヘッドホン、マイクロホンなどを次々と開発し、国際的なブランドに成長しています。海外アーティストらが同社のマイクを手に熱唱し、夏季・冬季オリンピックでは競技場に設置された同社のマイクが会場の臨場感を伝えています。また、昨今のコロナ禍によるテレワークやステイホーム需要の高まりを受けて、ヘッドセットやUSBマイク、会議用システムの販売を伸ばしています。



オーディオテクニカ様の高級ヘッドホン

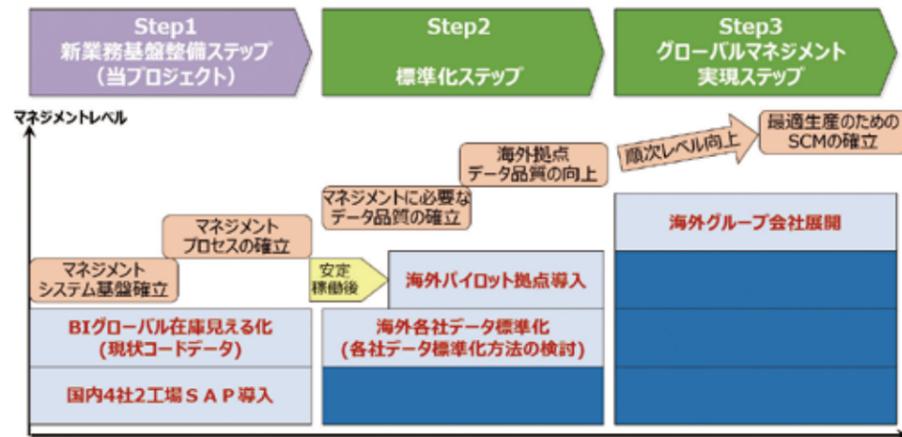


オーディオテクニカ様の各種製品

現在、売上比率はおおよそ海外65%、国内35%になるまでに成長した会社ですが、「当社は小さいながらも世界中に拠点をもち、それぞれが独立独歩で事業を進め、トータルで成長を続けてきました。一方で、各拠点が自分たちの業務しか見ないがゆえ過剰在庫が発生するなど多くの課題も浮かび上がってきました。その最大の原因は『情報の共有不足』にありました」と取締役 管理部 ゼネラルマネージャー 小柳 益男様は語っています。

このような状況を打破すべく、2016年から「ONE AT」という年次スローガンを掲げ、グループでの全体最適を推進しました。各国、各部門で分断された情報システムを1つの基幹システムに統一するプロジェクトがスタートし、まずは国内の統一化が始まりました。ERPは、グローバルでの利用実績が最も豊富で、各国の法制度に対応しているSAPシステムの導入を選びました。

製造業へのSAPシステム導入に強みを持つコベルコシステムは、2年間をかけて、多くのカスタマイズが施された各拠点の独立したシステムや業務を丁寧に紐解いていくと同時に、SAP S/4HANAとMicrosoft Azureの導入プロジェクトをリードしてきました。



「ONE AT」システム統合プロジェクト統合イメージ図

2019年、同社の国内4社2工場にSAPシステムの導入が完了し、海外への導入を見据えたStep1が終了しました。SAP S/4HANAを中心とした基幹システム群として国内を統一でき、ブラックボックスとなっていた情報が可視化されました。その結果、従来は7日間かかっていた月次決算が2日間に短縮され、月1回を基本としていた生産指示もより頻繁にできるようになりました。また、需給調整機能を集約し、海外生産拠点へ生産リードタイム短縮要請などができるように進めています。さらに、「SAP on Azure」によって、合計10数台が稼働していた物理サーバーが、クラウド上の半分の仮想マシンで済むようになり、パッケージソフトの多重投資もなくなったため、ランニングコストは半減しました。

国内の統一を終え、今後の展望を小柳様は次のように述べられています。「これからは1つのシステムに集まった共通のデータを皆で見て、自分の仕事だけに注力していた人たちのマインドを切り替えていきます。その先に私たちの目指すべき姿があります。」

今後もオーディオテクニカ様の「ONE AT」を実現するための挑戦を、コベルコシステムは支援していきます。



ニッポー株式会社様

ニッポー株式会社様(代表取締役社長 内田 雅典様)は、顧客のさまざまなニーズを形にする高度なプラスチック成形技術を強みとしているプラスチックの総合メーカーです。同社は各種テープなどの電子部品用包装資材から、化粧品OEMや医療用の機器、検査キット、食品などのフレキシブル包装分野まで、幅広い製品の開発・生産・販売を全国で展開しています。また、理想的な製品・包装のあり方についての研究に注力するとともに、次代を担う研究者を育てるため、産学連携にも積極的に取り組んでいます。



ニッポー様 本社

かつて同社では、各事業部がそれぞれに業務データの管理を行っていたことから、会社全体としての収支のみにとどまり、製品別・顧客別の原価を正確に把握することが難しい状況でした。また、生産管理システムを導入しておらず、手作業やExcelによって業務を回していたことから、営業と生産の連携に困難を生じていました。こうした課題を解決したいという社長 内田様の強い意志に基づき、同社は基幹システムの刷新を決断。検討を重ねた末、提案の内容と姿勢を評価してコベルコシステムを導入パートナーに指名しました。

コベルコシステムでは、同社が求める要件に応じた柔軟なカスタマイズが可能で、ワンパッケージで生産管理・販売管理・原価管理のすべてに対応可能な製造業向けソリューションを提案しました。そして、システム構築、円滑な移行および高いパフォーマンスを発揮させるためのチューニングまで含めた支援を行いました。

お客様の声

システムというのはあくまでビジネスインフラです。これを活用することで、どれだけ業務が効率的になったかを現場に体感してもらいたい。その経験を通じ、手作業で行っている業務をデジタル化する、データに基づいて判断するなど、現場のリテラシーの向上に

つなげていきたいと考えます。コベルコシステムは、そうした変革に向けたノウハウも持っていると思いますので、サポートを期待しています。

代表取締役社長 内田 雅典 様



電子部品用テープ・リール・トレー製品



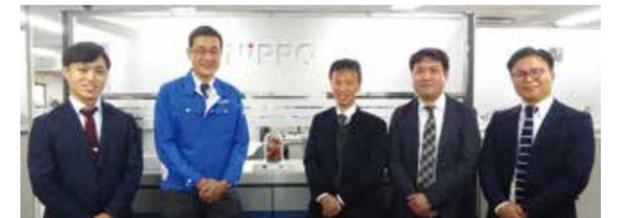
液体パウチ製品



食品容器

新たな生産管理システムが稼働したことで、日次、月次、半期の処理がスムーズに行えるようになり、在庫精度も向上し、在庫推移の予測から、在庫の圧縮も図れるようになりました。また、以前は営業が工場の在庫確認や生産状況を生産管理に電話連絡をして確認していましたが、今ではシステムですぐに把握、確認して回答できるようになりました。今後さらに、原価管理システムも本格的に稼働する予定です。これにより営業担当者の商談における交渉力の向上や、知見をもとにしたスピーディな経営判断が可能となります。

コベルコシステムでは、これからも同社の中長期的成長に向けて、継続的に業務改善の提案を行い、ビジネスの発展に貢献していきます。



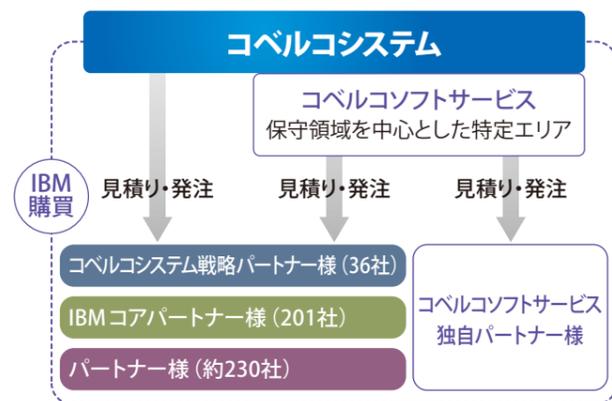
当社社員と一緒に
(左から二人目、生産本部 顧問 林 幸広様、
右から二人目、情報システム部 課長 時枝 直彦様、
右から三人目、経営管理本部 課長 大西 敦様)

特集 CSRを支える経営基盤
お客様とともに
ビジネスパートナー様とともに
社員とともに
地域社会とともに
CSRの取り組みについて

公正なパートナーシップの維持

より強固なパートナーシップの構築

2016年1月から、コベルシステムでは、「コベルシステム戦略パートナープログラム」を導入しています。このプログラムは、価格競争力を保ちつつ、品質の高いサービスをご提供いただけるパートナー様と戦略的パートナーシップを結ぶことで、お客様へさらに価値あるサービスをご提供することが目的です。



戦略パートナー様には各社の強みや技術者情報などをご提供いただき、当社からは今後のビジネスを優先的にご紹介するなど情報連携を強化しています。それによって、より高いセキュリティ遵守、適正取引などの法令遵守の相互協力、また、見積りプロセスの簡素化や品質評価のフィードバックの実施など、相互にメリットをもたらす、より強固なパートナーシップを構築しています。

コベルシステム戦略パートナープログラム

- 当社との定期的な意見交換および双方のビジネス拡大に向けた取り組みを共同して実施
- 当社とのリレーション強化の場を提供(パートナー会など)
- 品質評価フィードバックの実施
- ビジネスを優先的にご紹介
- 各種研修機会の提供(IBM主催研修を含む)
- セミナー/研修への参画
- 見積りプロセスの簡素化と発注までのリードタイム短縮

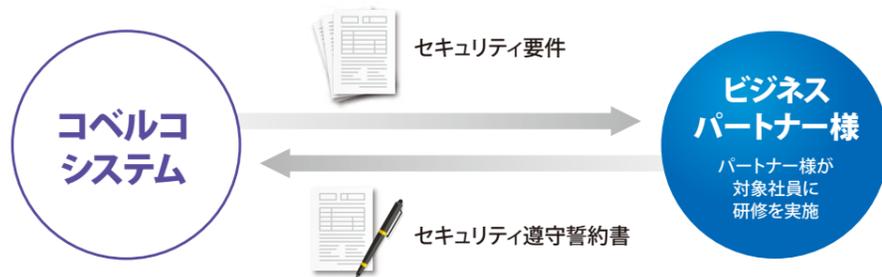
一体となってセキュリティを確保

当社は、ビジネスパートナー様とともにプロジェクトを遂行しています。その際、ビジネスパートナー様には、当社の社員と同等の基準でセキュリティを確保し、お客様に安心をお届けできるようご協力いただいています。

当社は、社員に対し、セキュリティ事項の遵守、徹底を図るために、毎年内容を見直して研修を実施しています。また、ビジネス

パートナー様に対しては、各社の責任者に依頼し、対象社員に向けて研修を実施していただいています。2020年度のセキュリティ研修においても、対象者全員が十分な理解状況にあることを各社からの履修理解度報告で確認しています。

これにより、当社とビジネスパートナー様が一体となって、お客様のセキュリティ確保につなげています。



適正取引の推進

当社は、ビジネスパートナー様へのそれぞれの業務委託方式にあわせた発注・進行管理を行っています。それらを適正に行うために、CSR推進委員会内に「適正取引部会」を設け、適正取引ガイド、eラーニングなどにより、具体的なガイドを社内に徹底する一方で、ビジネスパートナー様に対しても、必要に応じて情報発信やアンケート調査、個別訪問の実施などを通じてその理解と実践をお願いしています。

主な取り組みは、以下の3点です。

- ① ビジネスパートナー様における適正取引状況の調査
- ② ビジネスパートナー様の再委託先活用状況確認
- ③ 請負の適正化のための自主点検実施および実態調査

これらの活動により、ビジネスパートナー様との健全な関係を維持し、お客様をサポートしています。

ビジネスパートナー様へ表彰

当社2020年度上期社長賞受賞プロジェクトにおいて大きく貢献いただいたビジネスパートナー様へ感謝状を贈呈させていただきました。



株式会社第1コンピュータリソース様

アソート株式会社様

ビジネスパートナー様への感謝(ニューノーマルへの取り組み)

2020年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、当社でもニューノーマルへの取り組みを社員およびビジネスパートナー様とも隔たりなく、コロナ禍を乗り越えるため一体感を持ち、以下の取り組みを実施してきました。

- ① 当社のコロナウイルス感染症対応方針をタイムリーに各社へ発信(全5回)
- ② お客様とも協議したうえで、積極的な在宅勤務体制への切替推進
- ③ 各取引先とも在宅勤務の覚書締結と感染予防へのシフト調整
- ④ 在宅勤務ができない場合にも、マスク、アルコールなどの衛生品の供給およびパーティション設置などで感染予防環境の整備

その結果、パートナー様メンバー含め、感染者を最小限に抑えて、業務に支障なく現在まで活動を続けています。

例年はパートナー会を実施していますが、コロナウイルス感染症の影響もあり開催を見合わせました。

このような状況の中、2019年度ベスト表彰会社である株式会社高砂コンピューターサービス様からパートナー様の声を寄稿いただきました。

ビジネスパートナー様の声

オリンピックイヤーとなるはずだった2020年は新型コロナウイルスという未知のウイルスにより一変することになりました。緊急事態宣言が発出された第1波、ウイルスの弱体化が期待されていた夏場を襲った第2波、そしてそれらを凌駕する勢いで第3波が今まさに襲来しています。

この未曾有の環境変化の中でビジネスの在り方、ワークスタイルが大きく変革する1年でもありました。

弊社においても、世の中の流れにあわせてワークスタイルの変革を検討してまいりましたが、お客様常駐型のビジネスが主体である当社が独自の在宅勤務ルールなどを策定しても実施にいたることは非常に困難な状況でした。

そうした中でコベルシステム様が先頭に立たれ、素早くコロナ禍における対応をアナウンスいただき、貴社社員・ビジネスパートナーの分け隔てなくリーダーシップを発揮していただけたことで当社の要員も無理なく在宅勤務へ移行することができました。

また、在宅勤務が難しい職場においても感染予防を徹底するための備品整備、ガイドラインの提示により危機感が募る中でも安心して業務を遂行することができました。

”ともに”の精神として掲げられている「ビジネスパートナーとともに」という言葉を強く感じた瞬間でもありました。

企業の本物の価値は危機に直面したときにこそ現れると思っておりますが、コベルシステム様の危機管理、タイムリーな情報開示、そして迅速な対応に大変な感銘を受けるとともに弊社も勉強をさせていただきました。

コロナとともに生きていくニューノーマルの時代においてもコベルシステム様の期待に応え続ける企業として成長を続けていけるようさらなる精進をまいります。

末筆ながら、このような環境下においても変わらぬご愛顧をいただきましたコベルシステム様に改めて御礼申し上げますとともに、貴社のいっそうのご発展を祈念いたします。



左から、株式会社高砂コンピューターサービス 代表取締役社長 後藤様、当社社長(当時) 田野 ※ 2019年開催パートナー会にて

人材育成の仕組み

『コベルコシステムの最大の資産は人であり、社員一人ひとりの能力の最大限の発揮こそが会社発展の原動力である』という認識のもと、一人ひとりが互いを尊重し合いながらイキイキ働き、プロ

フェッショナルとして人間として成長できる会社の実現』を人事基本理念に据え、「期待する人材像、人材要件」を下記の通り定義しています。

- ① ITのプロフェッショナルとして、常に自らの専門性を磨き、高めるとともに、時代や環境の変化に、柔軟に自分で考えて動くことができる人材
- ② 人と協働し、他も活かし、組織・チームの目標達成のために、組織・チームの能力の最大化と最大限発揮に貢献できる人材
- ③ 社会人・企業人として、社会や会社のルールを遵守し、お客様に対しても常に責任を持って誠実に対応できる人材

複線型プロフェッショナル職制度を基軸に ~コベルコシステム認定プロフェッションを目指して~

これらを具現化する仕組みとして、社員一人ひとりの能力の最大限の発揮を追求する複線型プロフェッショナル職制度を採用しています。

そしてハイレベル人材の育成・登用および各職種の目指すべき人材像として、KCP認定制度 (KOBELCO SYSTEMS Certified Profession) を設けています。

専門職	ライン専門職	コンサルタント専門職	セールス専門職	プロジェクト専門職	IT専門職	経営スタッフ専門職	事務専門職	対外呼称
管理職群	本部長	コンサルタント	KCP チーフ・エキスパート			経営スタッフ	主任・係長	KCP認定者
	部長・センター長	コンサルタント	KCP シニア・エキスパート					
	グループ長・室長	コンサルタント	KCP エキスパート					
一般職群		コンサルタント	KCP認定			担当部長	主任・係長	KCP認定者
		スペシャリスト認定	セールススペシャリスト	プロジェクトスペシャリスト	ITスペシャリスト			
			セールススペシャリスト	プロジェクトスペシャリスト	ITスペシャリスト			
			セールス	システムエンジニア				
			セールス	システムエンジニア				
			セールス	システムエンジニア				

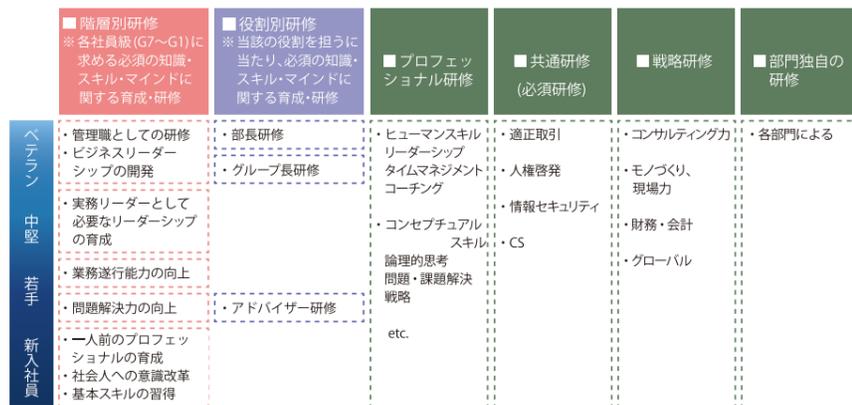
複線型プロフェッショナル職制度/スペシャリスト試験制度/KCP認定制度/アプリケーションマスター制度

教育・研修体系

コベルコシステムでは、「すべての質を高めよう」という狙いのもと、IT研修はもとより、ヒューマンスキルなどの普遍的要素の研修や、お客様の経営課題解決に寄与する、コンサルティング力、モノづくりや現場力の強化など経営戦略に即応した、さまざまな研修を実施しています。

また、社員全員が知識を習得するための必須研修、各階層や役割別の研修、個人の成長段階にあわせて受講できる研修や、それぞれのキャリアアプランにあわせて選択・受講することができる通信教育やスマートフォンでも学習できるeラーニングなど、個人のスケジュールにあわせて効率よく利用できる環境も

提供しています。2021年も、お客様のパートナー (Trusted Partner) となる人材の育成をさらに強化します。

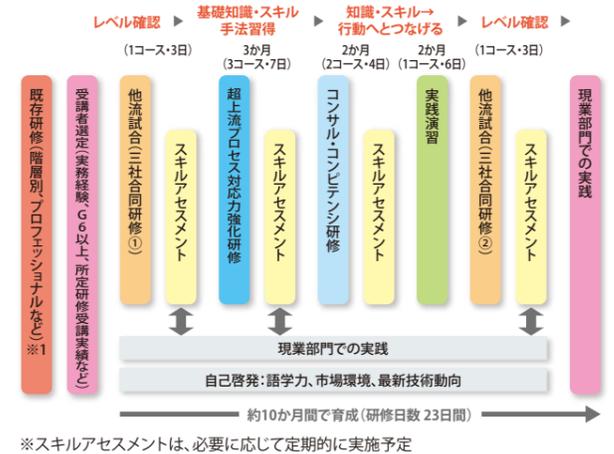


コンサルティング力強化プログラム

ITを取り巻く環境変化に伴い、現在コベルコシステムに求められているのは、お客様のビジネス環境やニーズを理解し、ともに経営課題を解決できる人材です。そのような状況を背景に、「ITベンダーからITパートナーへの変革」を目指し、2016年から開始したのが「コンサルティング力強化プログラム」です。

当プログラムでは、企業分析方法などの知識習得をはじめ、提案書作成、プレゼンテーションなどの講義や実践演習を通じ、さまざまなアプローチでお客様へ提案する際の姿勢やスキルを体得します。

プログラム期間は約1年間で、受講者は各部門から選抜された若手~中堅層メンバーです。今後も継続的に実施し、お客様のパートナーとして活躍できる人材を増やしていきます。



コンサルティング研修 受講者の声 産業ソリューション事業部 製造ソリューション本部 宮野 恭兵さん

本研修を受講したことで、現場レベルの課題といった低い視点から、「ビジョン、戦略」といった高い視点を意識しながら業務が行えるようになりました。一般公開されている情報から企業を分析する方法が学習できるため、これを模倣して分析することで以前より深く自身のお客様を理解したうえで会話ができています。

また、他部署の方との深い交流が生まれるとともに、演習を通じて自身の強み、弱みを把握し、成長につなげることもできました。本研修で学んだことを実際のお客様に対して積極的に活用し、より深い「Trusted Partner」となれるよう日々努力していきたいと思っています。



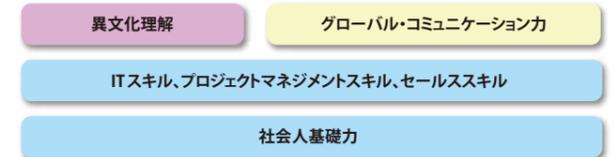
グローバル人材育成プログラム

コベルコシステムが求めるグローバル人材とは、「社会人基礎力」や「ITスキル、プロジェクトマネジメントスキル、セールススキル」をベースに、「異文化を理解する力」「世界で幅広く通用するコミュニケーション力」というグローバル特有要件を兼ね備えた人材です。

2016年から、これまでの語学力サポートに加え、ビジネス上で語学力やコミュニケーションを活かせるグローバル人材の育成に重点を置いた当プログラムをスタートさせています。

当プログラムは、英語でのE-Mailライティングスキルや海外でのビジネスミーティングの進め方など、異文化コミュニケーションの

要諦を解説と実践演習による経験を通じて理解・習得する内容になっています。今後も、グローバルビジネスで活躍できる人材輩出の環境づくりを積極的に行っていきます。



コベルコシステムが求めるグローバル人材要件

グローバル人材育成プログラム 参加者の声 産業ソリューション事業部 エンタープライズ本部 芝岡 恭介さん

将来的に海外案件で活躍するという目標に向けた準備として、上長からの勧めがあり本研修を受講しました。終日英語を話すことはかなりハードでしたが、笑いがあつた進修研修は、毎回非常に楽しみでした。良かった点は主に3点あります。①実践的な研修内容：シーン別のフレームワーク、相手との関係性によって使い分けるべき英語表現などを学ぶことができ、非常に実践的な内容でした。②英語学習仲間ができたこと：他の受講生と勉強法

や将来のビジョンを意見交換できることで、英語学習のモチベーションが向上しました。③海外案件で活躍するための必要スキルを再認識：ビジネスシーンのロールプレイを通し、言語はあくまでコミュニケーションツールであり、英語でも日本語でも必要な業務スキルは変わらないことを実感しました。グローバルへの取り組みが「何か変わるきっかけ」となる研修であることは間違いのないと思うので、少しでも興味がある方には強く受講をお勧めしたいと思います。

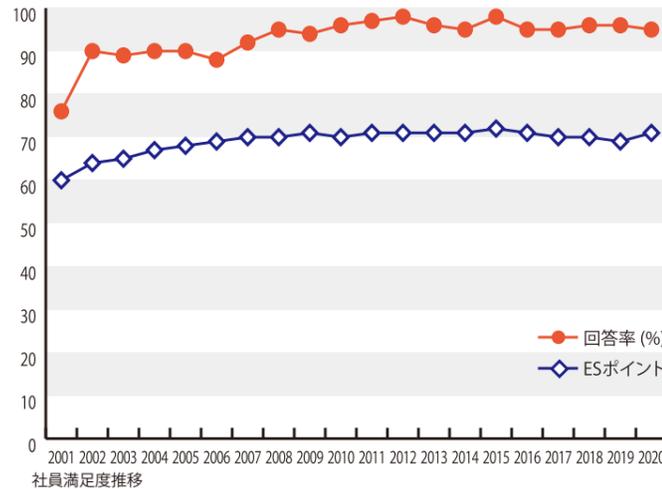


人材育成の仕組み

社員満足度調査

「社員満足 (ES) の向上がお客様満足 (CS) の向上につながる」という基本認識のもと、2001年から毎年、社員満足度調査を実施しています。全社員を対象に匿名で回答してもらうことで、社員の率直な意見を集め、課題の分析や改善策の立案を行っています。

総合満足度との相関が高くポイントの低い設問への対応に加え、「一律から個別へ」の方針を掲げ、「業務環境の違い」にも着目して対策をとっています。業務環境による社員満足度のバラつき是正など、社員一人ひとりを取り巻く環境を踏まえ、「満足の質」を高める課題の発見や改善に向けたアクションをとっています。



新任ライン長スタートアッププログラム

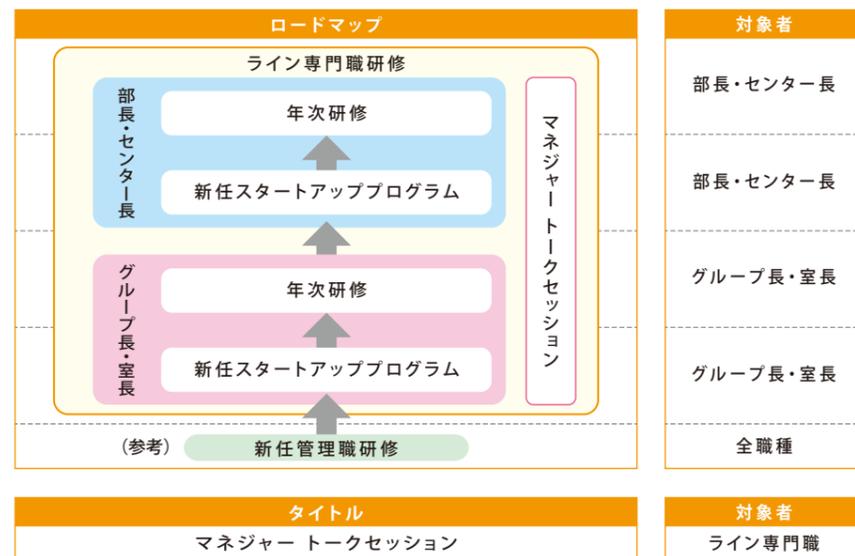
ビジネス環境が目まぐるしく変化する中、お客様に信頼されるパートナーとしてあり続けるためには、社員一人ひとりがこれまで以上にレベルアップしていかなくてはなりません。そのためには、社員自身の自己研鑽はもちろんのこと、ライン長がリーダーシップを発揮して、部下を適切に育成・サポートしていくことが重要です。

当社では全ライン長を対象とした年次ライン長研修に加え、新任ライン長に対するスタートアッププログラムを拡充し、ライン長のマネジメント力強化を図っています。

当プログラムでは、初めて部下を持ったグループ長・室長にとって今日からでも必要となる知識を、社内の実事例を教材に、各分野の第一人者であるベテラン社員が講師となって、少人数制のインタラクティブな形で提供しています。

さらに、ライン長が抱えている部下の指導・育成上の悩みや課題について、ライン長自身の経験や社内事例を通して、解決につながるヒントを共有しあい、明日からのマネジメントに活かすことを狙いとして参加者同士が気楽に話し合う座談会 (マネジャートークセッション) を開催しています。

今後も当社中期経営計画の要である人材育成に取り組んでいきます。



社員と組織の絆を深めるために

プラチナくるみん認定を取得しました

2020年7月、「プラチナくるみん認定」を取得しました。

「くるみん」とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業が「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができるものです。

当社は2009年、2012年、2015年にもくるみん認定を3度取得しましたが、この度、より高い水準の取り組みを行っている企業として、プラチナくるみん認定を受けました。

※兵庫県内ではプラチナくるみん認定企業は7社(2020年11月現在)であり、当社は7番目の企業として認定されました。



【認定にいたったポイント】

認定基準は複数ありますが、「男性の育児への参画度合い」は、今回認定にいたったポイントの一つです。たとえば当社の男性の育児関連制度の取得割合は、対象者の約50%に達しています(下図)。

認定項目	くるみん認定基準	プラチナくるみん認定基準
①育児休業等を取得した者の割合	7%以上	13%以上(当社:約8%)
②育児休業等を取得した者および、育児休業等に類似した企業独自の休暇制度を利用した者の割合	15%以上	30%以上(当社:約50%)

男性の育児休業
取得人数
2020年時点で
累計18人!

※②「育児休業等に類似した企業独自の休暇制度」=「配偶者の出産に伴う慶弔休暇(2日間の特別休暇(有給))

他にも、各社内制度の整備や働き方改革に向けた取り組みも評価ポイントとなりました。

■認定に関連する制度・取り組み例

両立支援制度の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業制度 ・短時間勤務制度 ・子の看護休暇制度 	働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務制度の導入 ・フレックスタイムのコアタイム短縮 ・年次有給休暇取得日数 平均13日達成 など
-----------	--	-------	---

この度の認定取得は、社員一人ひとりの取り組みや、周囲の支え・協力があつての結果です。

今後も会社として働く環境の整備に努め、ワークライフバランスの推進を図るとともに、社員がイキイキと働き、能力を最大限発揮できるような職場づくりに取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症に対するコベルコシステムの対応

新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年2月下旬に、社内およびお客様への感染防止を目的に、災害対策本部を立ち上げ、当社社員に対し、

- ・予防3原則「手洗い、うがい、咳エチケット」の周知徹底
- ・社員への定期的なマスクの配布
- ・在宅勤務制度のフレキシブルな運用適用(在宅勤務取得日数の制限解除)
- ・オンライン環境の整備による、自宅からの業務継続提供
- ・感染が疑われる情報をキャッチアップし、適宜フォロー

を実施してきました。

また、お客様先にて当社社員が業務を行っているケースについては、当社マネジャーがお客様と調整し、在宅勤務への切り替えを行ってきました。ただ、業務の特性、またはプロジェクトの状況によっては、やむを得ず出社となるケースがありますので、会社としては引き続き、社員の安全、そしてお客様の安全を念頭に取り組んでいきます。

環境保護・地域貢献活動

「森の世話人」活動

コベルコシステムが本拠を置く神戸は、シンボルである六甲山の自然に恵まれ、地域社会全体で六甲山の自然を守り育て、親しみ、そして愉しんでいます。

コベルコシステムでは、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所が推進する防災事業の六甲山系グリーンベルト整備事業に「森の世話人」として参加し、六甲山の前山の金鳥山(神戸市東灘区)南側に広がる森林を「Kocoroちゃんの森」と名付けて整備しています。

主な活動は、他の植物の生育を妨げるネザサの刈り取り、腐朽木や外来樹種の伐採、常緑樹の間伐、落葉広葉樹の植樹などです。



毎年、50人規模の全社活動を年3回、その合間に10人前後での中間活動を年間10回程度実施しています。また、活動に際しては、NPO法人「六甲山の自然を学ぼう会」のサポートを得て森づくりを行っています。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全社活動は秋の一回だけでしたが、緑豊かな、秋には紅葉が美しい森林になることを目指し、コナラ、エゴノキ、エノキ、クロモジの苗木10本を植樹しました。

また、これまでに「Kocoroちゃんの森」の休憩所にあわせて10脚のベンチを設置・寄贈し、ハイカーや登山客の皆さんにご利用いただいています。

活動の開始から12年目となる2021年も引き続き、ネザサ刈りや伐採・間伐とともに落葉広葉樹の植樹を行い、土砂災害に強い森づくりを実施していきます。

コベルコシステムの自然保護活動イメージキャラクター Kocoroちゃん



Kocoroちゃん ※第12回アニメーション神戸協賛事業として公募

その他の社会貢献・地域貢献活動

■スポーツ振興・芸術への協賛

- NPO 法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構(SCIX)に協賛しています。
- 公益社団法人大阪フィルハーモニー交響楽団、公益社団法人アンサンブル神戸に協賛しています。

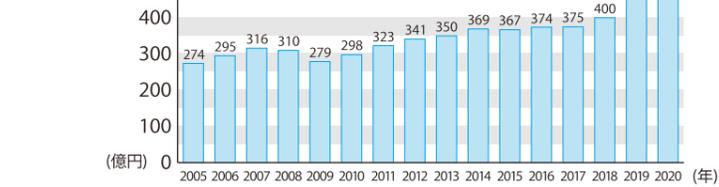
■サイバー犯罪に対応するための兵庫県警への貢献

兵庫県警察本部からの委嘱を受けて、サイバー犯罪捜査官およびサイバーテクニカルサポーターとして社員を派遣し、サイバー犯罪に対応するためのIT捜査知識・技術の向上に貢献しています。

会社プロフィール

会社名称：コベルコシステム株式会社
 創 立：1983年10月1日
 (神鋼コンピュータシステム株式会社として発足)
 設 立：1987年7月1日 (コベルコシステム株式会社に商号変更)
 代 表 者：代表取締役社長 瀬川文宏
 株 主：日本アイ・ピー・エム株式会社 51%
 株式会社神戸製鋼所 49%

資本金：4億円
 社員数：1,716人 (2021年4月1日現在、関連会社512人を含む)
 関連会社：コベルコソフトウェア株式会社
 本 社：〒657-0845
 神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号 (シマブンビル)



事業所：



沿革

- 2020年：次世代育成支援対策推進法認定マーク(ブラチナくるみん)取得
- 2019年：技術開発本部 設立
- 2018年：デジタルイノベーションセンター 設立
クライアントパートナーチーム 設置
- 2017年：会社設立30周年 記念行事を開催
日本IBMグループ統一ISMS認証取得 (SO本部)
- 2016年：東京本社リニューアル
- 2015年：「コベルコシステム クラウドインテグレーションサービス」開始
事業部制導入
- 2014年：SAP導入テンプレート「HI-KORT」のクラウドサービス開始
本社「近畿ニューオフィス コミュニティ賞」受賞
ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) 永年登録表彰
- 2013年：本社移転
「プライバシーマーク制度貢献事業者」として表彰
- 2011年：中国・北京で開催された「SAPPHIRE NOW in Beijing」に出展
- 2010年：クラウドサービスセンター 設立
- 2009年：次世代育成支援対策推進法認定マーク(くるみん)取得
「秘伝のタレ®」「秘伝のワザ®」を商標登録
- 2007年：全国企業品質賞にて大賞受賞(栃木県経営品質協議会主催)
- 2006年：東京事業所を東京本社と改称
全国企業品質賞にて最優秀賞受賞(栃木県経営品質協議会主催)
- 2005年：AMS®センター 開設
- 2004年：IPセントレックス・IPコミュニケーション事業に進出
- 2003年：ISMS認証取得
- 2002年：アウトソーシング事業を強化
日本IBMの資本参加
- 2000年：プライバシーマーク(個人情報保護)の認定取得
- 1999年：ASP事業の本格的な展開を開始
ISO9001認証取得

※ AMS: Application Management Service
 SAP社のERPパッケージをベースとした基幹システムの、本番稼働後の安定稼働や運用技術支援、業務の定着化を支援するサービス

取得済の認証・認定・許可

■ ISO9001 適用部署：
産業ソリューション事業部
システム事業部 ICT本部

■ 登録活動範囲：
製造業、流通業及びその他の産業向け 顧客要求事項に基づくソフトウェアの設計・開発・製造及び付帯サービス(教育、移行支援及び瑕疵対応)

■ 登録組織：システム事業部 ICT本部
 ■ 登録範囲：インフラソリューションサービスの提供
 ■ 規 格：JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)
 ■ 登録番号：JSAI 003
 ■ 有効期限：2024年4月20日
 ■ 登録認証機関：日本規格協会ソリューションズ株式会社 審査登録事業部

日本IBMグループ統一認証
 ISO 27001 BUREAU VERITAS Certification

■ 認証範囲：情報システムに関するハードウェア製品、及びソフトウェア製品の提供
 情報システムに関するビジネスコンサルティング、構築・運用、保守及びその他サービスの提供
 スポーツに関する事業の運営、コンサルティング
 上記事業に関連する管理業務

■ 規格：ISO/IEC 27001:2013, JIS Q 27001:2014
 ■ 認証番号：4445190-5E
 (この認証書は4445190の一部を構成するものです)
 ■ 有効期限：2022年11月15日
 ■ 登録認証機関：ビューロー・ベリタスジャパン株式会社

兵庫県知事許可一般建設業(電気通信工事業)
 [許可番号 / (般-27) 第114641号]

CSRの取り組みについて

SDGsとの対照表

コベルコシステムのCSRとSDGsとの対照表

コベルコシステムのCSR活動で、SDGsとの関連がある活動は以下の通りです。SDGsで掲げた課題・目標を意識し、かかわることで、

	お客様とともに	社員とともに	地域社会とともに
内容	● デジタルイノベーションセンター	● 人材育成の仕組み ● ブラチナくるみん ● KWC (KOBELCO SYSTEMS Work-life-balance Community)	● 国土交通省 六甲山系グリーンベルト整備事業 「森の世話人」活動への参画
関連するSDGs	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	5 ジェンダー平等を達成しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう

編集後記

本レポートを最後までお読みいただき、まことにありがとうございました。本レポートはそれぞれの分野の担当者が、できる限りわかりやすく伝えることを心がけて執筆いたしました。また、記載の内容をより理解いただくために図や写真を多用し、かかわった社員の声を数多く掲載いたしました。コベルコシステムのCSR活動に対する皆さまの理解が深まり、親近感を覚えていただけましたら幸いです。今後もさらにCSR活動を強化し、ステークホルダーの皆さまと「ともに」の姿勢で取り組んでいきます。

ご意見・ご感想は、当社ホームページ「[その他のお問合わせ](#)」からお願いいたします。

<https://www.kobelcosys.co.jp/inquiry/other/>



コベルコシステム株式会社 経営企画部 CS・CSR推進グループ
 〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号 シマブンビル10F
 TEL: 078-261-6001 FAX: 078-261-7520